

Access Connections

プロファイル配布パッケージ作成/導入ガイド

日付: 2007年2月23日

Access Connections

プロファイル配布パッケージ作成/導入ガイド

日付: 2007年2月23日

第1刷 2007.2

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright Lenovo 2007.

Portions © Copyright International Business Machines Corporation 2005-2006.

All rights reserved.

まえがき

本書は、IT 管理者、または Access Connections™ ロケーション プロファイルを組織内に配布する担当者を対象としています。本書は、Access Connections を複数の PC にインストールするために必要な情報を提供することを目的としています。同ソフトウェアのライセンスが各ターゲット PC で有効であることが条件となります。Access Connections は、管理者およびユーザーがアプリケーション自体の使用に関する情報を参照できるアプリケーション・ヘルプを提供します。

本書には、Access Connections で作業するための指示および解決法が掲載してあります。ご提案やご意見がありましたら、Lenovo™ 担当者にご連絡ください。TCO の削減に役立つテクノロジーの詳細、および本書の定期的な更新情報を確認するには、次の Web サイトをご覧ください。

www.lenovo.com

目次

まえがき	iii	ロックされたプロファイルの削除	20
第 1 章 概要	1	配布したプロファイルの更新	20
機能	1	既存の PC 上の Access Connections のアップグレード	21
Access Connections のプロファイル配布に関する考慮事項	2	第 5 章 Active Directory および ADM	
プロファイル配布の要件および仕様	3	ファイルの処理	23
Access Connections のプロファイル配布機能	3	管理用テンプレートの追加	23
第 2 章 Access Connections のインストール	5	Access Connections のクライアント構成プラグインのインストール	23
Access Connections のサイレント・インストール	5	グループ・ポリシー設定	24
Access Connections のアンインストール	5	ログオン・スクリプトを使用した Active Directory による .LOA および .SIG ファイルの配布	26
第 3 章 管理者機能进行处理する	7	ログオン・スクリプトのグループ・ポリシーへの追加	26
管理者機能を使用可能にする	7	付録 A. コマンド行インターフェース	29
管理者機能を使用する	8	付録 B. 統合パッケージ	31
配布パッケージを作成する	9	Access Connections 統合パッケージ	31
Access Connections のポリシーを定義する	11	ディレクトリー構造	33
第 4 章 Access Connections のプロファイル配布	19	付録 C. 特記事項	35
新規 PC 上への配布	19	商標	36
既存クライアント PC への配布	20		

第 1 章 概要

Access Connections は、ワイヤレス LAN などさまざまなネットワーク接続の構成を援助する接続支援プログラムです。ユーザーは、自宅や職場など特定の場所からクライアント PC をネットワークに接続するために必要な、ネットワークとインターネットの構成設定値を保存するためのロケーション プロファイルを作成し、管理できます。モデム、有線ネットワーク・アダプター、ブロードバンド (DSL、CATV、FTTH など)、またはワイヤレス・アダプターを使用して、ネットワーク接続を行うことができます。仮想プライベート・ネットワーク (VPN) 接続もサポートされます。PC をさまざまな場所に移動するたびにロケーション プロファイルを切り替えることによってネットワークに素早く簡単に接続できるので、手動でネットワーク設定値を再構成する必要はありません。ロケーション プロファイルは、高度なセキュリティー、プリンター、アプリケーションの自動起動などを設定することができます。

Access Connections には、イーサネット接続とワイヤレス LAN 接続の自動ロケーション切り替えをサポートする機能があります。

機能

Access Connections には、ワイヤレス接続およびネットワーク接続を素早くまた楽に検出できる以下の機能があります。

- **新規ロケーション プロファイルの作成**

Access Connections には、ロケーション プロファイルの作成に役立つウィザードがあります。ロケーション プロファイルは、さまざまなタイプのネットワークに接続するために必要な設定値を定義します。Access Connections を始動すると、「コネクション マネージャー」が開きます。

- **ロケーション プロファイルと接続状況の表示**

「コネクション マネージャー」ウィンドウを使用して、ロケーション プロファイルを切り替えながら、Access Connections 内で定義したそれぞれのロケーション プロファイルに関連するネットワーク接続の状況を表示できます。このウィンドウを開くと、ネットワーク接続の状況と、現在適用されているロケーション プロファイルのコンポーネントの状況が表示されます。

- **ロケーション プロファイル間の切り替え**

Access Connections には、ロケーション プロファイルを変更する機能があります。リストから別のロケーション プロファイルを選択して接続するだけで、プロファイルを切り替えることができます。進行標識ウィンドウに、接続の状況が表示されます。接続が失敗した場合は、接続の修正に役立つボタンが表示されません。

- **ワイヤレス接続**

Access Connections は、ワイヤレス WAN および Bluetooth に対応しています。第三世代携帯電話技術の導入により、ネットワークへの高速ワイヤレス接続を可

能にする有効な代替機能として、ワイヤレス WAN サービスが登場しました。ただし、日本ではこの機能はサポートされていません。

- **ワイヤレス・ネットワークの検索**

Access Connections は、ワイヤレス・アダプターの範囲内にあるワイヤレス・ネットワークを検索できます。この機能は、移動中や公共の場所にいるときに、使用可能なワイヤレス・ネットワークがあるかどうかわからない場合に便利です。検出されたすべてのワイヤレス・ネットワークへの接続を試行でき、接続の試行が成功した場合は、検出されたワイヤレス・ネットワーク名とデフォルト設定値を使用して、ワイヤレス用のロケーション プロファイルが新規に作成されます。適切な設定値が分かっている場合は、検出されたワイヤレス・ネットワーク用のロケーション プロファイルを手動で作成することもできます。

- **ロケーション プロファイルの自動切り替え**

現在適用されているロケーション プロファイルに関連したネットワークが使用不可になった場合、Access Connections は使用可能なネットワークを検索し、該当するロケーション プロファイルに自動的に切り替えることができます。ワイヤレスのロケーション プロファイルとイーサネットのロケーション プロファイルの間で、自動切り替えが可能です。ワイヤレス優先順位リストを設定することにより、ご使用の PC が複数のワイヤレス・ネットワークの範囲内にある場合、または複数のロケーション プロファイルが同じワイヤレス・ネットワーク名を使用している場合に、どのワイヤレス・ロケーション プロファイルをアクティブにするか定義できます。

- **リモートでの配布管理者専用のロケーション プロファイルの作成**

Access Connections の管理者は、クライアント PC にエクスポートするためのロケーション プロファイルを定義できます。

システム・トレイに表示される Access Connections のアイコンを使用して、アプリケーションを起動したり、現行ロケーション プロファイルの状況を表示したり、プロファイルを切り替えたりすることができます。

Access Connections のプロファイル配布に関する考慮事項

ユーザーが接続を試行するさまざまな場所、およびそのロケーションで使用可能な接続の種類に関する情報を収集すると、ユーザーがインポートして直ちに使用することが可能となります。初期イメージで配布できる作業の構成をプロファイルに取り込むことにより、ユーザーは手動でプロファイルを作成することなしにネットワーク接続を即時に利用できます。

バージョン4.0 以降で使用可能な管理者機能イネーブラー・ツールにより、AccessConnections を企業環境で実行すると、ロケーション プロファイル、共通設定、および制御ポリシーを個人または個人のグループに配布するタスクが単純化されます。プロファイルおよび設定値の配布は、初期システム配布時にプリロード・イメージの一部として、またはシステムが現場に設置された後に標準のリモートでの配布の方法を使用して実行できます。

プロファイル配布の要件および仕様

サポートされる ThinkPad® と Lenovo およびワイヤレス WLAN と WAN ドライバーの現行リストを表示するには、次の Web サイトを参照してください。

<http://www.lenovo.com/pc/support/site.wss/document.do?sitestyle=lenovo&Indocid=MIGR-4ZLNJB>

Access Connections のプロファイル配布機能

Access Connections 管理者プロファイル配布機能は、クライアント・ユーザー用に作成したロケーション プロファイルを配布するために必要です。管理者プロファイル配布機能は、次のサイトで IT 管理者のみを対象に提供されています。

<http://www.lenovo.com/pc/support/site.wss/document.do?sitestyle=lenovo&Indocid=ACON-DEPLOY>

管理者プロファイル配布機能の詳細については、7 ページの『第 3 章 管理者機能を処理する』を参照してください。

以下のリストは、IT 管理者が Access Connections を配布および管理する上で役立つ機能を示しています。

- 管理者は、ロケーション プロファイルを作成して、プリロード・イメージの一部として配布するか、クライアント・システムが配布された後にインストールできます。
- 制御ポリシーを各プロファイルごとに設定できます。
- 配布制御リストを作成して、さまざまな配布パッケージをインポートできるユーザーを制限できます。
- クライアント構成ポリシーを設定して、クライアント PC での Access Connections の操作を構成できます。
- 配布パッケージは、暗号化され、パスワードで保護されているので、許可された個人のみがワイヤレス・セキュリティー情報 (たとえば WEP や静的パスワードなど) を含むロケーション プロファイルをインポートできます。

第 2 章 Access Connections のインストール

Access Connections のインストール手順が、以下に説明してあります。Access Connections 統合パッケージのインストールに関しては、31 ページの『付録 B. 統合パッケージ』を参照してください。

Access Connections のサイレント・インストール

Access Connections をサイレント・インストールする手順は、以下のとおりです。

1. Microsoft® Windows® 2000、Windows XP、または Windows Vista™ を起動し、管理者権限でログオンします。
2. Access Connections のソフトウェア・パッケージをハードディスクに解凍します。例: C:\Drivers\W2k\Accon
3. 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
4. 以下のコマンドを使用して、Access Connections をインストールします。
 - a. 手動でインストールするには、次のように入力します。

```
<path>%setup.exe
```
 - b. インストール・ログのデフォルト・パスでサイレント・インストールを行なうには、次のように入力します。

```
<path>%setup.exe -S-SMS-f2x
```
 - c. 指定したログ・パスのカスタマイズしたセットアップ・スクリプトでサイレント・インストールを行なうには、次のように入力します。

```
<path>%setup.exe -S-SMS-f1<fullpath>%setup.iss-f2<path>%setup.log.
```
 - d. CD からサイレント・インストールを行なうには、次のように入力します。

```
<path>%silent.bat
```

注: Access Connections を Windows Vista にインストールする場合は、Windows Vista 用として設計された Access Connections をインストールします。他のバージョンの Access Connections は、Vista オペレーティング・システムでは正常に機能しないことがあります。

Access Connections のアンインストール

Access Connections をアンインストールする手順は、以下のとおりです。

1. Windows 2000、Windows XP、または Windows Vista™ を起動し、管理者権限でログオンします。
2. 「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
3. 次のコマンドで、Access Connections をアンインストールします。
 - a. 手動でアンインストールするには、次のようにします。

```
<path>%setup.exe -0x9 anything
```
 - b. カスタマイズしたスクリプトでサイレント・アンインストールを行なうには、

- 1) 以下の手順を実行して、uninst.iss ファイルを作成します。
 - a) Access Connections のインストール・ディレクトリーに進み、setup.exe -r -remove を実行します。
 - b) プロンプトが表示されたら、「アンインストール」をクリックします。
 - c) システムを後で再起動するには、「いいえ」をクリックします。これにより、自動再起動が回避されます。
 - d) C:¥Windows¥Setup.iss に生成されたスクリプト・ファイルを、ローカル・ディレクトリーにコピーします。
 - e) スクリプト・ファイルを uninst.iss に名前変更します。
- 2) 次のコマンドを入力します。

```
<path>¥setup.exe -S-f1<fullpath>¥uninst.iss anything -f2x
```

第 3 章 管理者機能进行处理する

この章では、Access Connections の管理者機能を使用可能にし、使用するために必要な情報を説明します。

管理者機能を使用可能にする

管理者機能を使用可能にする前に、Access Connections がご使用のシステムにインストールされている必要があります。管理者機能を使用可能にするには、以下の手順を実行します。

1. Access Connections をクライアント・システムに配布するには、管理者プロファイル配布 (Administrator Profile Deployment) 機能を、次の Lenovo Web サイトからダウンロードしてインストールします。

<http://www.lenovo.com/pc/support/site.wss/document.do?sitestyle=lenovo&lndocid=ACON-DEPLOY>

注: Access Connections のインポート/エクスポート機能は、プロファイルの移行に対してのみ使用されます。インポート/エクスポート機能を Access Connections の配布には使用しないでください。

2. 次のパスにインストールされている AdmEnblr.exe を実行します。

C:\Program Files\ThinkPad\ConnectUtilities

3. 以下のメッセージが表示されます。



図 1. Windows 2000 および XP 用の管理者プロファイル配布機能イネーブラー



図 2. Windows Vista 用の管理者プロファイル配布機能イネーブラー

4. 「管理者機能を使用可能にする」をクリックします。
5. 「終了」をクリックして、イネーブラーを閉じます。
6. Access Connections を開始します。

管理者機能を使用する

管理者機能を使用可能にした後は、配布パッケージを作成または編集することにより、ユーザーのためのロケーション プロファイルを管理できます。配布パッケージにはファイル拡張子の .loa が付けられ、Access Connections により使用されるロケーション プロファイルのメタデータが入っています。以下の手順は、Access Connections の管理者機能を使用するための理想的なシナリオです。

1. Access Connections を使用して、ロケーション プロファイルを作成します。ロケーション プロファイルを作成するときは、以下のシナリオを考慮します。
 - オフィスでの接続
 - 自宅での接続
 - 支社や営業所などでの接続
 - 移動中の接続およびホット・スポットでの接続

ロケーション プロファイルの作成方法、または Access Connections の使用方法の説明については、次の Lenovo Web サイトで「Access Connections ユーザーズ・ガイド」を参照してください。

<http://www.lenovo.com/pc/support/site.wss/document.do?sitestyle=lenovo&Indocid=MIGR-63042>

2. 管理者プロファイル配布機能を使用して、配布パッケージを作成または編集します。
3. 配布パッケージをクライアント・システムに配布します。

配布パッケージを作成する

配布パッケージを作成するには、以下の手順を実行します。

1. 「プロファイル配布」をクリックしてから、「配布パッケージの作成」をクリックします。

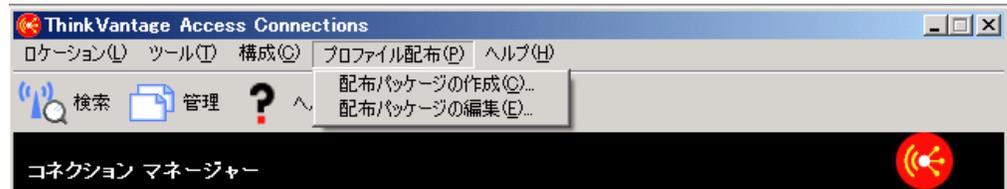


図3. 配布パッケージの作成

2. 配布するロケーション プロファイルを選択します。選択したプロファイルが暗号化の使用可能な無線 LAN プロファイルを含む場合、機密データが公開されないよう確認するために、ワイヤレス設定がプロンプト表示されます。ワイヤレス・ネットワーク接続を使用するロケーション プロファイルを配布する場合、ドナーおよび受信側に、ロケーション プロファイルで定義される機能をサポートしているワイヤレス・アダプターが組み込まれている必要があります。配布されたロケーション プロファイルが LEAP 認証用に構成されている場合、受信側システムのアダプターは LEAP 認証をサポートしている必要があります。

以下の画面キャプチャは、Windows 2000 または XP、および Windows Vista の例を示します。

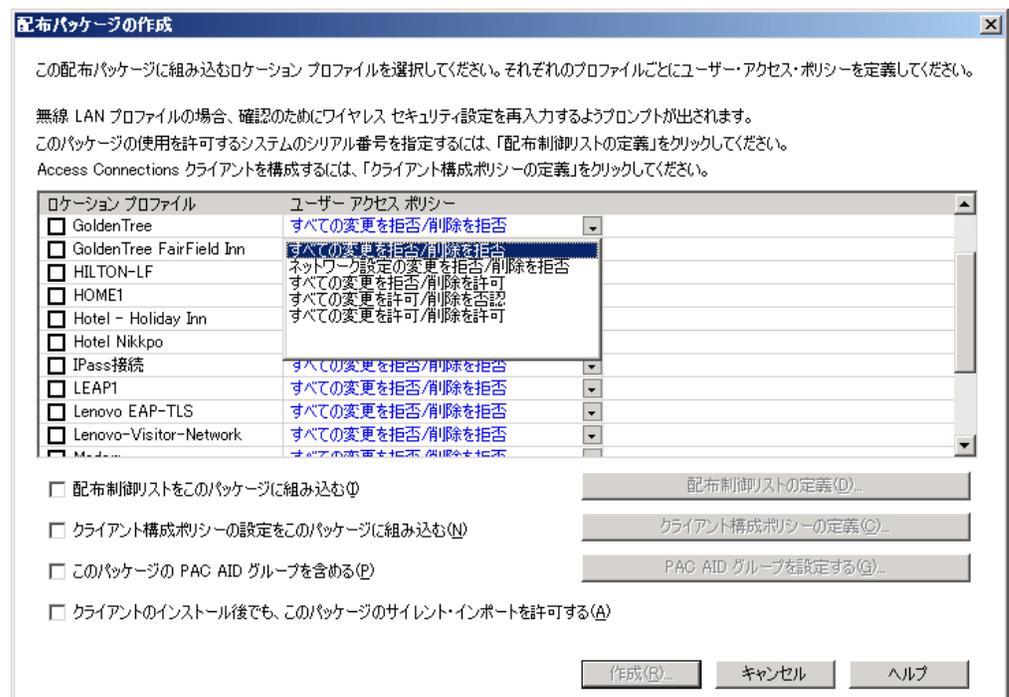


図4. Windows 2000 および XP 用の「配布パッケージの作成」パネル

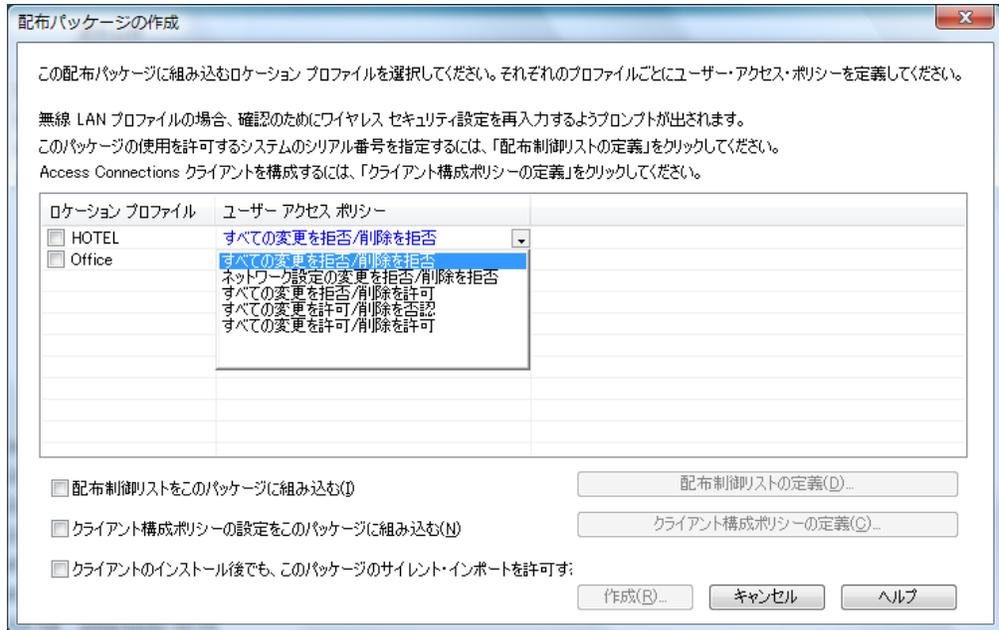


図 5. Windows Vista 用の「配布パッケージの作成」パネル

3. ドロップダウン・メニューから「**ユーザー アクセス ポリシー**」を選択します。ユーザー・アクセス・ポリシーは、特定のプロファイルを対象とする制約事項を定義します。ユーザー・アクセス・ポリシーはプロファイルごとに定義でき、以下の選択肢があります。
 - **すべての変更を拒否/削除を拒否:** ユーザーは、プロファイルで変更、コピー、または削除などの操作を実行することができません。
 - **ネットワーク設定の変更を拒否/削除を拒否:** プロファイルのネットワーク設定値を変更、削除、またはコピーできません。変更不可能なパラメーターは TCP/IP 設定、拡張 TCP/IP 設定、およびワイヤレス設定です。プロファイルを削除できません。
 - **すべての変更を拒否/削除を許可:** ユーザーはプロファイルを変更またはコピーできません。ただし、ユーザーはプロファイルを削除することができます。
 - **すべての変更を許可/削除を否認:** ユーザーはプロファイルを変更できます。ただし、プロファイルを削除することができません。
 - **すべての変更を許可/削除を許可:** ユーザーは、プロファイルを変更、コピー、および削除できます。
4. 以下のオプションに対して Access Connections ポリシー設定を定義します。
 - 11 ページの『配布制御リストをこのパッケージに組み込む』
 - 13 ページの『クライアント構成ポリシーの設定をこのパッケージに組み込む』
 - 16 ページの『このパッケージの PAC AID グループを含める (Windows 2000 および XP のみ)』
 - 18 ページの『クライアントのインストール後でもこのパッケージのサイレント・インポートを許可する』
5. 「**配布パッケージの作成**」パネルの下部にある「**作成**」ボタンをクリックします。

6. プロンプトが出たら、パスフレーズ (パスワード) を入力して *.loa ファイルを暗号化します。クライアント・システム上に配布パッケージ (*.loa) をインポートするには、これと同じパスフレーズが必要です。配布パッケージを自動的にインポートするのに必要な *.sig ファイルでも、パスフレーズは暗号化されます。
7. 「ロケーション プロファイルのエクスポート」ダイアログ・ボックスで、該当するディレクトリー・パスにナビゲートし、使用する .loa ファイルの名前を入力します。配布に必要な .loa ファイルおよび .sig ファイルは、デフォルトで、C:\Program Files\Thinkpad\ConnectionUtilities\Loa ディレクトリーに保存されます。
重要: イメージの配布の場合、*.loa ファイルは Access Connections インストール・ディレクトリー (C:\PROGRAM FILES\THINKPAD\CONNECTUTILITIES) に存在している必要があります。
8. 「保存」をクリックします。

Access Connections のポリシーを定義する

以下の設定は、ユーザーに対する Access Connections ポリシーを制御します。ポリシーを設定しないと、ユーザー用の該当機能はぼかし表示されます。

配布制御リストをこのパッケージに組み込む

この設定は、PC のシリアル番号に基づいて配布制御リストを定義するために使用します。

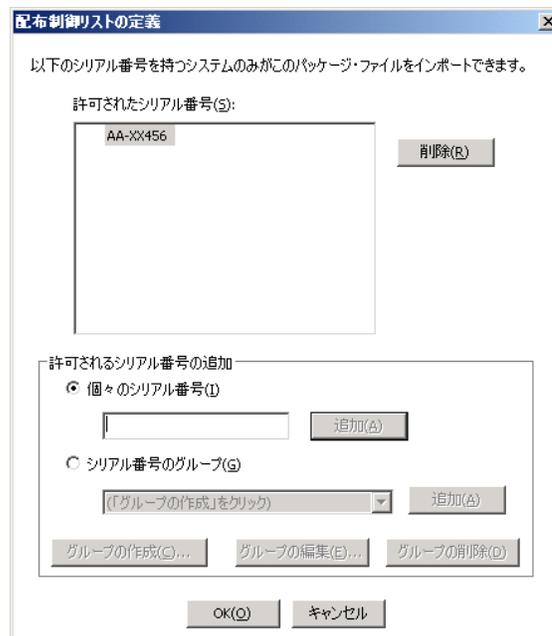


図 6. 配布制御リストの定義

この配布の方法により、ユーザーは個別のシリアル番号を入力するか、さまざまなロケーション プロファイルを必要とする、さまざまなユーザー組織を表す、さまざまなグループのシリアル番号を作成できます。このオプションは、プロファイル・ロケーション・ファイル (*.loa) がリモート・ユーザーに手動インポート用に送信さ

れる際、ファイルの配布を保護することを主な目的としています。配布制御リストにより、個人が適切なネットワーク接続プロファイルのみをインストールすることが保証されます。配布制御リストは、特定の指定したシステム・ユニットにのみプロファイルの利用を制限する目的に利用します。

グループの作成: シリアル番号のグループを作成する場合、シリアル番号のグループを含むフラット・テキスト・ファイルをインポートできます。

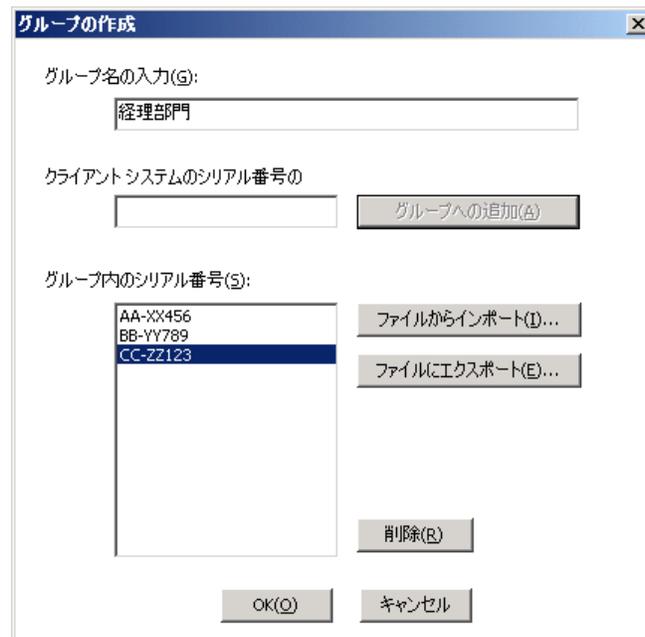


図7. グループの作成

ファイルは、各行に単一のシリアル番号が含まれているようにフォーマット設定されている必要があります。これらのテキスト・ファイルは、管理者機能を使用して作成されたリストをエクスポートするか、または資産管理システムにそのような機能があれば使用することで作成できます。これにより、多数の PC への配布をシリアル番号に基づいて制御するプロセスが単純化されます。

クライアント構成ポリシーの設定をこのパッケージに組み込む

この設定は、*.loa ファイルがインポートされた後に、ユーザーに対して使用可能になる機能を制御するクライアント構成ポリシーを定義します。

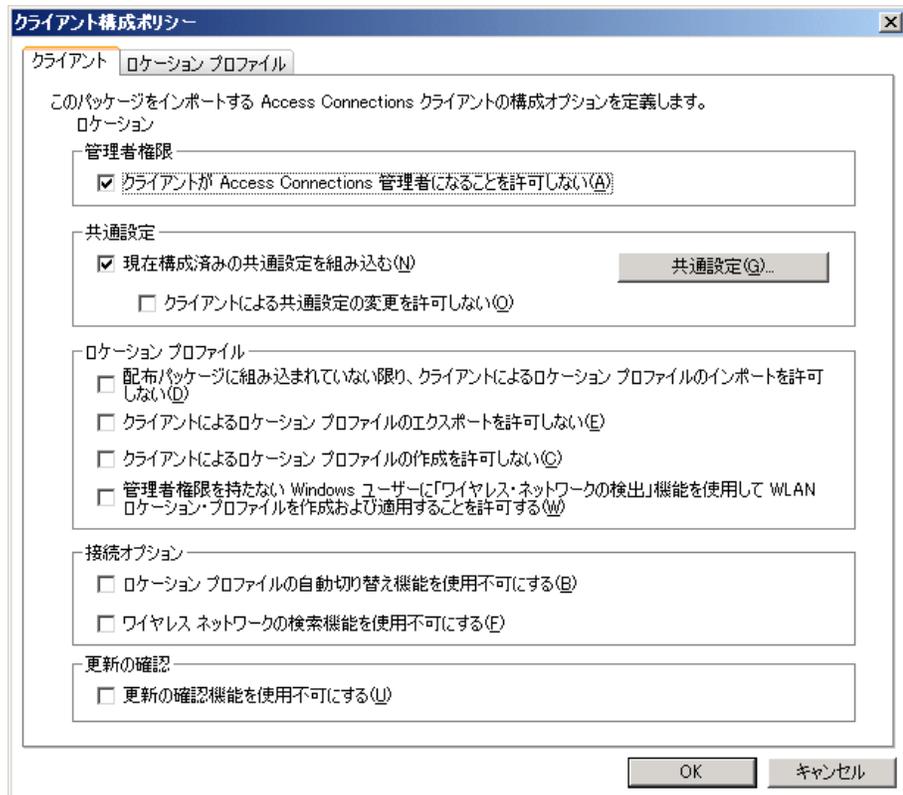


図 8. クライアント構成ポリシー

「クライアントが Access Connections 管理者になることを許可しない:」の横のボックスにマークを付けると、ユーザーが Access Connections のインストール時に管理者機能を使用可能にすることを防ぎます。この設定は、規模の大きな企業環境で他者によるネットワーク・アクセス・プロファイルの作成および配布を防ぎたい場合に役立ちます。以下のタスクを実行するためのユーザー機能も制御できます。

- ロケーション プロファイルの作成、インポート、およびエクスポート
- 共通設定の変更 (14 ページの『共通設定』を参照)
- 管理者権限を持たない Windows ユーザーのための、ワイヤレス・ネットワーク検索機能を使用した WLAN ロケーション プロファイルの作成および適用
- ロケーション プロファイルの自動切り替え
- 更新の確認

ロケーション プロファイル: 以下の Internet Explorer ポリシーを設定します。

- ブラウザーのホーム・ページの設定
- プロキシ設定

オプション設定では、以下のポリシーが設定できます。

- セキュリティー設定
- アプリケーションの自動開始
- 通常使うプリンターの設定
- VPN 接続の使用

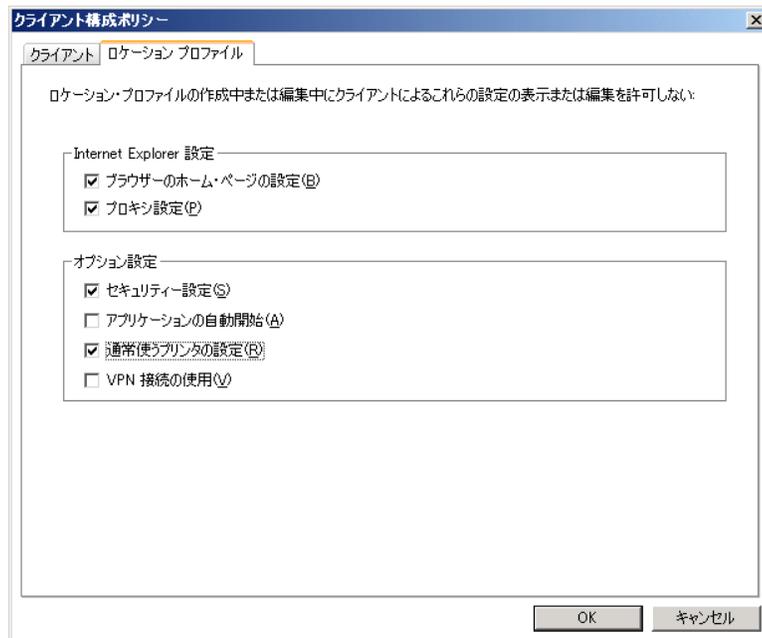


図9. ロケーション プロファイルの定義

共通設定: 共通設定の「ネットワーク」パネルで、以下のポリシーが設定できます。

- 管理者権限を持たない Windows ユーザーにロケーション プロファイルの作成および適用を許可する
- Windows ログオンユーザー名とパスワードを浸かってワイヤレス ネットワークの認証を行う (システムの再起動が必要)
- ログオフ時に全てのワイヤレス ネットワーク接続を閉じる
- 無線 LAN プロファイルで Adhoc 接続タイプ・オプションを使用不可にする
- 無線 LAN の自動無線制御を使用可能にする
- Fn+F5 オンスクリーン メニューによるプロファイル切り替えを使用可能にする
- ピアツーピア コミュニティ機能を使用不可にする

以下の画面キャプチャは、Access Connections が Windows 2000 または XP オペレーティング・システムにインストールされているとき、および Access Connections が Windows Vista オペレーティング・システムにインストールされているときの「共通設定」パネルの例を示します。

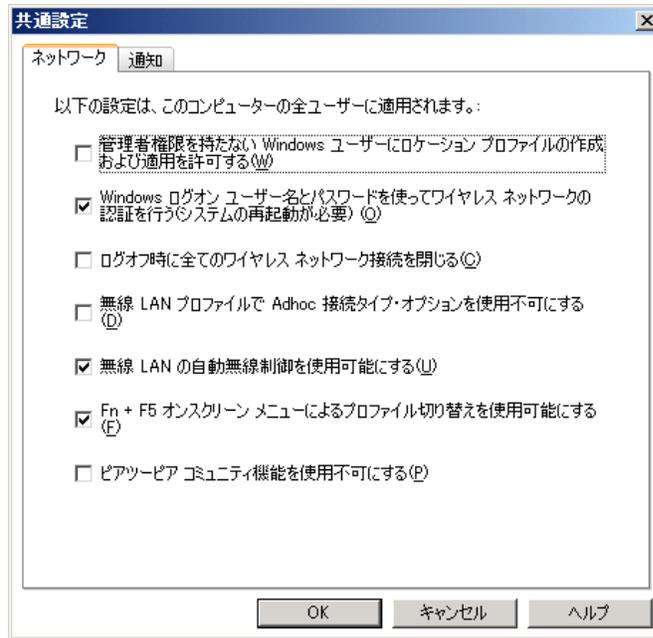


図 10. Windows 2000 および XP の場合のネットワーク共通設定

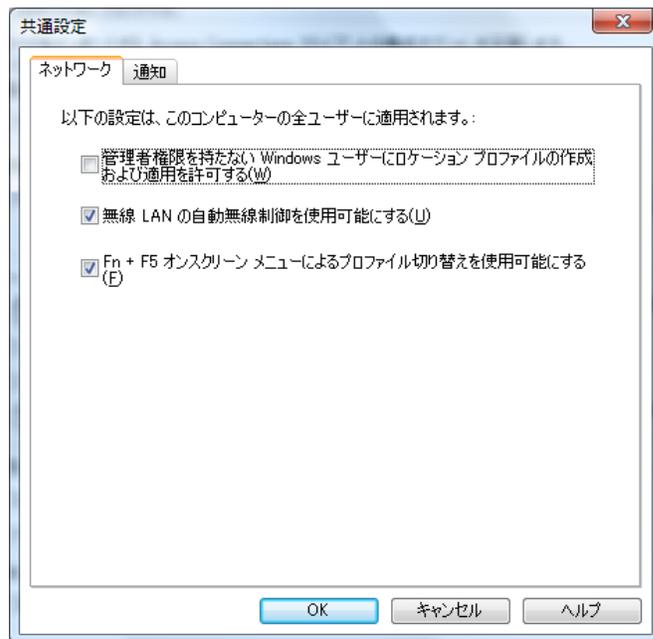


図 11. Windows Vista の場合のネットワーク共通設定パネル

共通設定の「通知」パネルでは、以下のポリシーが設定できます。

- タスクトレイに **ThinkVantage Access Connections** ステータスアイコンを表示する
- タスクトレイにワイヤレス ステータス アイコンを表示する
- プロファイルを切り替える時、接続の進行状況ウィンドウを表示する

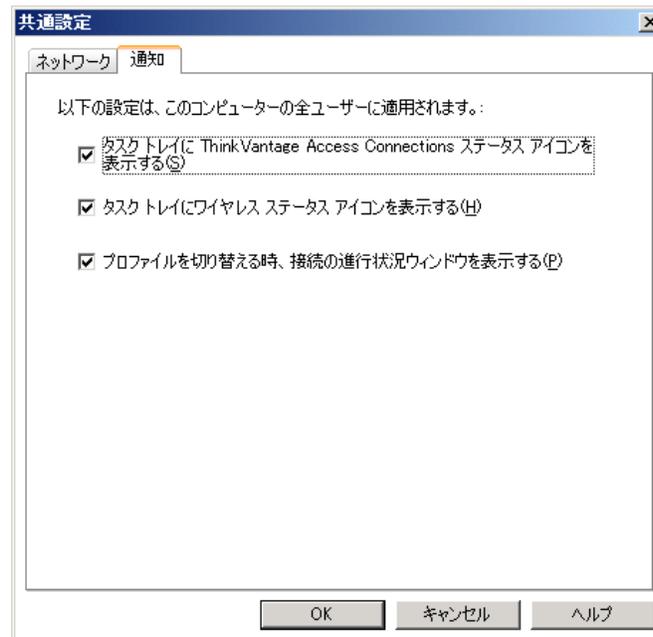


図 12. 共通設定の通知

このパッケージの PAC AID グループを含める (Windows 2000 および XP のみ)

Protected Access Credentials (PAC) は、Extensible Authentication Protocol-Flexible Authentication via Secure Tunneling (EAP-FAST) で交換されるユーザー資格情報と PAC 鍵を保護します。すべての EAP-FAST オーセンティケーターは権限 ID (AID) によって識別されます。

ローカル・オーセンティケーターはその AID を認証クライアント宛てに送信し、クライアントは適用中のロケーション プロファイルで参照されている PAC AID グループを検査して、その認証 AID がそのグループに所属するかどうか調べます。所属することが確認された場合、クライアントは既存の PAC が使用可能であれば確認メッセージを出さずにその使用を試行します。所属が確認されない場合は、既存の PAC を使用することの確認メッセージをユーザーに表示します。ユーザー用にマッチングする PAC が存在しない場合、クライアント・システムは新しい PAC を要求します。

.loa パッケージは、PAC AID グループをターゲット・システムにインポートおよびエクスポートします。配布パッケージを作成するときに PAC AID グループを組み込むためには、「このパッケージの PAC AID グループを含める」チェック・ボックスにマークを付けます。

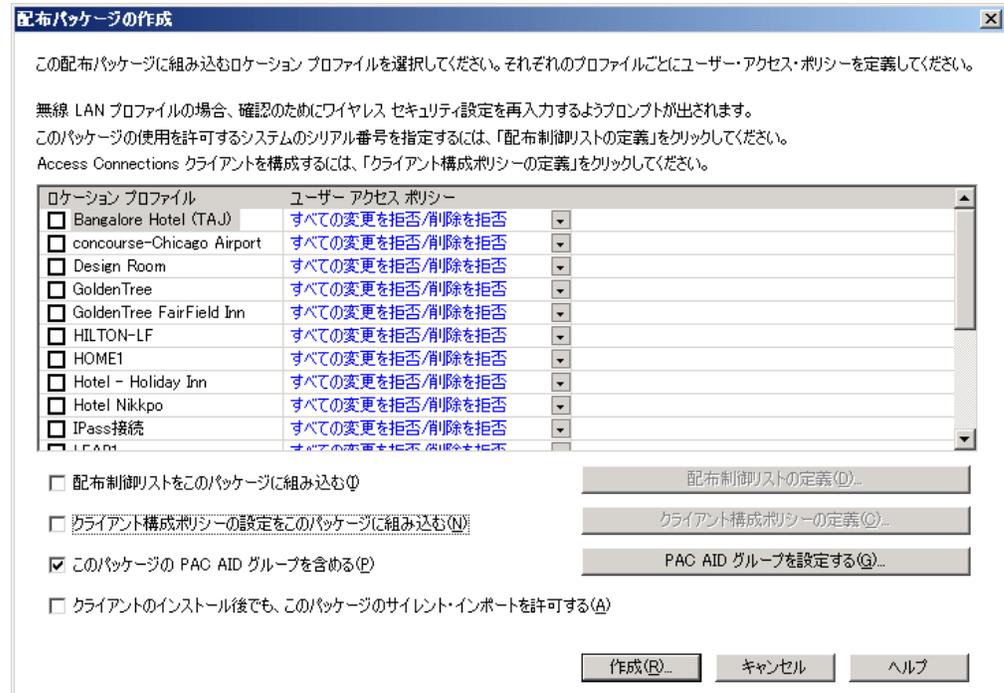


図 13. 配布パッケージの作成

以下の手順を実行して、新規 PAC AID グループを作成します。

1. 「PAC AID グループの設定」パネルで、「グループ」をクリックします。
2. 「利用可能な PAC」を右クリックします。

注: グループに組み込もうとしている AID 付き PAC は、その AID グループを作成しているマシンに存在している必要があります。

3. ドロップダウン・メニューから、「グループの作成」をクリックします。

PAC AID グループは配布パッケージに追加または削除できます。グループを追加するには、ドロップダウン・メニューからグループを選択して「追加」をクリックします。グループを削除するには、使用可能な PAC AID のリストから該当のグループを選択して「削除」をクリックします。

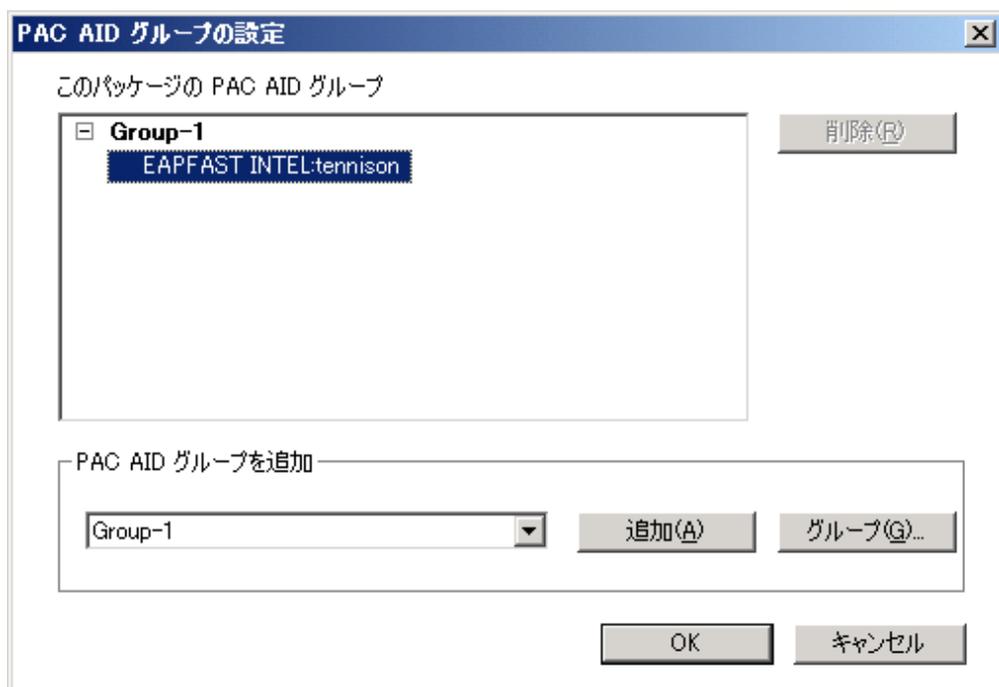


図 14. PAC AID グループの設定

クライアントのインストール後でもこのパッケージのサイレント・インポートを許可する

デフォルトでは、一度インストールされた Access Connections で、*.loa ファイルにあるプロファイルはインポートできません。17 ページの図 13 のチェック・ボックスで作成された配布パッケージ (*.loa ファイルと *.sig ファイルからなる) は Access Connections のインストール・フォルダーにコピーでき、次の再起動時に検出およびインポートが自動的に行なわれます。

第 4 章 Access Connections のプロファイル配布

クライアント・ユーザーに必要なロケーション プロファイルを作成した後、ロケーション プロファイルを新規作成、更新、または改訂して管理し、クライアント PC に配布することもできます。以下の例は、Access Connections を配布する方法を説明しています。

- 新規クライアント PC 上の Access Connections およびロケーション プロファイルを配布します。
- Access Connections を起動させ、既存のクライアント PC 上のロケーション プロファイルおよびクライアント・ポリシーを配布します。
- 既存のクライアント PC 上で、既存の Access Connections をアップグレードして、ロケーション プロファイルを移行します。

新規 PC 上への配布

Access Connections がインストールされていない新規のコンピューター上で、Access Connections ロケーション プロファイルを配布するには、次の手順を実行します。

1. Access Connections 配布パッケージ (*.loa と *.sig) を、7 ページの『第 3 章 管理者機能を処理する』に記載されているように、望ましいユーザー・アクセス・ポリシーおよびクライアント構成ポリシーを含んだロケーション プロファイルで作成します。サイレント・インポートの場合、.loa ファイルを作成する間、「クライアントのインストール後でも、このパッケージのサイレント・インポートを許可する」設定を有効にします。
2. 31 ページの『付録 B. 統合パッケージ』に記載されているように、Access Connections、ワイヤレス LAN ドライバー/アプリケーション、ホット・キー Fn+F5 ユーティリティ、および省電力ドライバーで、統合パッケージを作成します。
3. 統合パッケージの CONWIZ フォルダーに、配布パッケージ (.loa ファイルと .sig ファイル) を含めます。統合パッケージに、配布パッケージを組み込まない選択もでき、代わりに、統合パッケージまたは Access Connections のインストール後、それらを Access Connections のインストール・ディレクトリー (デフォルトのインストール・ディレクトリーは、C:\Program Files\ThinkPad\ConnectUtilities) にコピーできます。
4. 31 ページの『付録 B. 統合パッケージ』に記載されているように、手動またはサイレント・インストールで統合パッケージを導入します。
5. システムの再起動後、Access Connections は自動的に起動し、配布パッケージの検出およびサイレント・インポートを行ないます。サイレント・インポート・オプションが選択されていない場合、ユーザーはプロファイルの管理ウィンドウでインポートを選択し、プロンプトが表示されたときに、管理者によってパッケージを作成するのに使用されたのと同じパスフレーズを提供することによって、パッケージを手動でインポートすることを選択できます。

既存クライアント PC への配布

Access Connections がすでにインストール済みで起動している既存の PC 上で Access Connections ロケーション プロファイルを配布するには、以下のステップを実行します。

1. Access Connections 配布パッケージ (*.loa と *.sig) を、前の 7 ページの『第 3 章 管理者機能を処理する』に記載されているように、望ましいユーザー・アクセス・ポリシーおよびクライアント構成ポリシーを含んだロケーション プロファイルで作成します。クライアント構成ポリシーのみを変更する必要がある場合は、プロファイルをエクスポートせずに、変更したクライアント構成ポリシーのみを組み込んだ、配布パッケージを作成できます。サイレント・インポートの場合、.loa ファイルを作成する間、「クライアントのインストール後でも、このパッケージのサイレント・インポートを許可する」設定を有効にします。
2. 配布パッケージ (*.loa と *.sig) を既存のクライアント PC の Access Connections のインストール・ディレクトリー (デフォルトのインストール・ディレクトリーは、C:\Program Files\ThinkPad\ConnectUtilities) にコピーします。
3. システムの再起動後、Access Connections は自動的に起動し、配布パッケージの検出およびパッケージのインポートを行ないます。以下のコマンドで、インポートを強制できます。

```
<path> %qctray.exe /importsilently  
<path> %qctray.exe /killac  
<path> %qctray.exe /startac
```

ロックされたプロファイルの削除

ロックされた Access Connections のプロファイルを削除するには、2 とおりの方法があります。

1. クライアント・システム上の追加/削除プログラムで、プロファイルを持つ Access Connections をアンインストールします。
2. ロックされたプロファイルをリモートで削除するには、以下のステップを実行します。
 - オリジナルに配布された .loa と同じ名前と同じパスフレーズを持つ、別のアンロックされた .loa プロファイルを作成します。
 - この新規に作成した .loa プロファイルを、クライアント・システムに配布します。
 - 次のコマンドを使用して、プロファイルを削除します。

```
<path>%qctray.exe/del<location profile name>
```

配布したプロファイルの更新

現在配布済みのプロファイルを、新規暗号化およびセキュリティー設定へと更新するには、オリジナルに配布された .loa プロファイルと同じ名前と同じパスフレーズを持つ、別の .loa プロファイルを作成する必要があります。この新規に作成した .loa を、クライアント・システムに配布します。

既存の PC 上の Access Connections のアップグレード

既存のクライアント PC 上で、Access Connections を新規バージョンにアップグレードし、既存のロケーション プロファイルに移行するには、以下のステップを実行します。

1. 31 ページの『付録 B. 統合パッケージ』に記載されているように、Access Connections の新規バージョン、ワイヤレス LAN ドライバー/ アプリケーションの推奨バージョン、ホット・キー Fn+F5 ユーティリティ、および省電力ドライバーで、統合パッケージを作成します。
2. 31 ページの『付録 B. 統合パッケージ』に記載されているように、手動またはサイレント・インストールで統合パッケージを導入します。こうすると、ロケーション プロファイルを削除せずに、古いバージョンの上にインストールされ、他の既存の設定がすべて保持されます。
3. システムの再起動後、Access Connections は自動的に起動し、既存のロケーション プロファイルの検出および新規バージョンへの移行を自動的に行ないます。

第 5 章 Active Directory および ADM ファイルの処理

Active Directory は、コンピューター、グループ、エンド・ユーザー、ドメイン、セキュリティ・ポリシー、およびユーザー定義オブジェクトの不特定型を管理する能力を管理者に提供する仕組みです。これを実現するために Active Directory が使用するこの仕組みは、グループ・ポリシーおよび管理用テンプレート・ファイル (ADM) として知られています。グループ・ポリシーおよび ADM ファイルを使用して、管理者はドメイン内のコンピューターまたはユーザーに適用可能な設定を定義します。

Active Directory またはグループ・ポリシーについて詳しくは、次の Microsoft Web サイトを参照してください。

<http://www.microsoft.com>

管理用テンプレートの追加

Access Connections 管理用テンプレート (ADM ファイル) をグループ・ポリシー・エディターに追加するには、以下の手順を実行します。

1. Windows のスタート・メニューから、gpedit.msc を実行します。グループ・ポリシー・エディターが表示されます。
2. 「コンピュータの構成」の下で、「管理用テンプレート」を右クリックし、「テンプレートの追加と削除」を選択します。
3. 「追加」ボタンを押してから、tvtacad.adm ファイルを選択します。
4. 「テンプレートの追加と削除」ダイアログ・ボックス上の「閉じる」ボタンを押します。
5. 「コンピュータの構成」の下で「管理用テンプレート」タブをクリックします。ThinkVantage と名前が付いた新しいタブが表示されます。「ThinkVantage」タブの下に「Access Connections」タブがあります。これにより、このマシンに対して使用可能なすべての設定が構成できる状態になります。

Access Connections のクライアント構成プラグインのインストール

ユーザーの時間と労力の節約のために、Access Connections 用のクライアント構成ポリシーを設定する補足プラグイン・ファイルを Lenovo は提供しています。以下の補足ファイルは、acpolicyplugin.zip に圧縮されています。

- **acadplg.exe** - インストールされると、このプラグインは Access Connections 用のクライアント構成ポリシーを自動的に設定します。
- **acadplg.exe.manifest** - このマニフェスト・ファイルは、プラグインをサポートするために使用されます。
- **acadplgsetup.exe** - ユーザーが acadplgsetup.exe を実行すると、すべての必要なファイルをインストールします。
- **tvtacad.adm** - この管理用テンプレートは、Access Connections の構成ポリシーを設定するためにグループ・ポリシーで使用されます。

上記ファイルは、Access Connections 4.2 以上をサポートします。

Access Connections のクライアント構成ポリシーを設定するには、以下の手順を実行します。

1. acpolicypugin.zip を、次の Lenovo Web サイトからダウンロードします。
<http://www-307.ibm.com/pc/support/site.wss/document.do?sitestyle=lenovo&lnocid=ACON-DEPLOY>
2. acadplgsetup.exe ファイルを実行して、Access Connections 用の Active Directory プラグイン・サービスをインストールします。
3. このサービスをアクティブにするために、クライアント・システムを再起動します。

グループ・ポリシー設定

次の表は、ADM ファイル・テンプレートを使用して変更可能な Access Connections のポリシー設定を示します。

表 1. コンピュータの構成 > 管理用テンプレート > ThinkVantage > Access Connections

ポリシー設定	説明
ユーザー・モードを有効にする	特権が制限されたユーザーは、新規ロケーション プロファイルを一サネット接続またはワイヤレス接続を使用して作成し、Access Connections 管理者が該当オプションを有効にしている場合は既存のロケーション プロファイルの間で交換することが許可されます。
シングル・サインオンを有効にする	ワイヤレス接続が Windows ログオン時に確立されます。ワイヤレス認証は、Windows ログオン資格情報を使用するように構成可能です。このオプションを有効にした後は、システムの再起動が必要です。Windows Vista では使用できません。
ログオフ時に接続を閉じる	セキュリティを向上させるために、ユーザーがログオフするときにワイヤレス接続が切断されます。Windows Vista では使用できません。
Adhoc 接続を無効にする	Adhoc 接続タイプは、無線 LAN プロファイルの作成中は使用できません。Windows Vista では使用できません。
自動 WLAN 無線制御を有効にする	自動ワイヤレス LAN 無線制御を有効にした場合は、無線がアクセス・ポイントと関連付けされていないときは常に、電力の節約とセキュリティの向上のために無線は自動的にオフになります。
FnF5 メニューを有効にする	ロケーション プロファイルが、Fn+F5 オンスクリーン・ディスプレイ・メニューから切り替え可能です。
ピアツーピア通信を無効にする	ピアツーピア通信機能が使用できなくなります。Windows Vista では使用できません。
ACTray アイコンを表示する	Access Connections の状況アイコンが、タスク トレイの通知領域に追加されます。
ワイヤレス・トレイ・アイコンを表示する	ワイヤレス LAN および WAN の状況アイコンが、タスク トレイの通知領域に追加されます。
進行状況表示を表示する	接続中の状況を示す、進行状況表示ウィンドウが表示されます。
管理者機能をブロックする	クライアントが Access Connections 管理者機能を使用することを禁止して、プロファイルまたはポリシーの配布ができないようにします。

表 1. コンピュータの構成 > 管理用テンプレート > ThinkVantage > Access Connections (続き)

ポリシー設定	説明
共通設定の変更をブロックする	クライアントが、このポリシーにより設定された共通設定を変更することを禁止します。
インポートをブロックする	配布パッケージに組み込まれている場合を除き、クライアントがロケーション プロファイルをインポートすることを許可しません。
エクスポートをブロックする	クライアントがロケーション プロファイルをエクスポートすることを許可しません。
プロファイルの作成をブロックする	クライアントがロケーション プロファイルを作成することを許可しません。
ワイヤレス・ネットワーク検索 (FWN) を使用したプロファイルの作成を有効にする	管理者権限を持たない Windows ユーザーが、ワイヤレス・ネットワーク検索機能を使用して WLAN ロケーション プロファイルを作成し適用することを許可します。
自動切り替えを無効にする	ロケーション プロファイルの自動切り替え機能を無効にします。
ワイヤレス・ネットワーク検出を無効にする	ワイヤレス・ネットワーク検出機能を無効にします。
更新の確認を無効にする	更新を確認する機能を無効にします。
ブラウザのホーム・ページの設定を非表示にする	クライアントが、ロケーション プロファイル内のブラウザのホーム・ページの設定を表示または編集することを許可しません。
ブラウザのプロキシ設定を非表示にする	クライアントが、ロケーション プロファイル内のブラウザのプロキシ設定を表示または編集することを許可しません。
セキュリティー設定を非表示にする	クライアントが、ロケーション プロファイル内のセキュリティー設定を表示または編集することを許可しません。
アプリケーションの開始を非表示にする	クライアントが、ロケーション プロファイル内のアプリケーションの自動開始設定を表示または編集することを許可しません。
プリンターを非表示にする	クライアントが、ロケーション プロファイル内の通常使うプリンターの設定を表示または編集することを許可しません。
VPN を非表示にする	クライアントが、ロケーション プロファイル内の VPN 接続設定を表示または編集することを許可しません。

注: ポリシー設定を変更するには、Active Directory 用の Access Connections プラグインを使用した後、クライアント・システムを再起動する必要があります。

ログオン・スクリプトを使用した Active Directory による .LOA および .SIG ファイルの配布

.loa ファイルおよび .sig ファイルは、c:\programfiles\thinkpad\connectutilities\LOA に保存されます。ログオン・スクリプトを使用した Active Directory を通じて .loa および .sig ファイルを配布するときは、Access Connections の「配布パッケージの作成」パネルで「クライアントのインストール後でも、このパッケージのサイレント・インポートを許可する」チェック・ボックスにマークを付けます。

.loa および .sig ファイルの追加情報については、7 ページの『第 3 章 管理者機能を処理する』を参照してください。

ログオン・スクリプトのグループ・ポリシーへの追加

以下の手順で、グループ・ポリシー内のユーザーあるいはコンピューターのログオン・スクリプトをセットアップする方法を説明します。

1. グループ・ポリシー管理エディターを起動します。
2. ドメイン・ネームを右クリックしてから、「GPO の作成およびリンク」をクリックします。
3. 使用するグループ・ポリシー・オブジェクト (GPO) の名前を入力します。
4. GPO 名を右クリックしてから、「編集」をクリックします。
5. 「グループ・ポリシー・オブジェクト・エディター」パネルから、次のようにナビゲートします。

User Configuration->Windows Settings->Scripts (Logon/Logoff)->Logon

6. 「ログオン・プロパティ」パネルから、Acloa.bat ファイルを選択してから「追加」をクリックします。
7. 「スクリプトの追加」ダイアログ・ボックスで、「参照」をクリックしてから、使用するスクリプトを選択します。
8. 「OK」をクリックします。
9. Acloa.bat ファイルを「ログオン・スクリプト」の場所にコピーします。
10. 「開く」をクリックすると、ログオン bat ファイルが追加されます。
11. 「セキュリティ・フィルター」セクションの下の「ADS テスト」パネルで、「追加」をクリックして、ユーザー、グループ、またはコンピューターに権限を付与します。

Acloa.bat ファイルの作成

以下の例を使用して Acloa.bat ファイルを作成できます。

```
:Begin

If exist "c:\program files\thinkpad\connectutilities4\Silent.txt" goto SilentImportDoneBefore

copy %conwiz.com\NETLOGON\user01%*. * "c:\program files\thinkpad\connectutilities4"

cd c:\program files\thinkpad\connectutilities4

qctray /importsilently

Echo Silent Import was performed > "c:\program files\
```

```
thinkpad¥connectutilities4¥Silent.txt"  
Echo Silent Import was performed  
goto SilentImportDone
```

```
:SilentImportDoneBefore  
Echo Silent Import was done before
```

```
:SilentImportDone
```

Acloa.bat

ユーザーがドメインにログオンするときに、Acloa.bat が実行され、以下が行われます。

- 次のクライアントの場所で silent.txt ファイルの検査をします。

```
c:¥programfiles¥thinkpad¥connectutilities
```

- silent.txt ファイルが存在する場合は、.loa および .sig ファイルをコピーしないで終了します。

- silent.txt ファイルが存在しない場合は、.loa および .sig ファイルをサーバーからクライアントにコピーします。

```
c:¥programfiles¥thinkpad¥connectutilities
```

- プロファイルを Access Connections にサイレント・インポートするには、次のコマンドを実行します。

```
qctray /silentimport
```

- その結果、silent.txt と呼ばれるファイルを c:¥programfiles¥thinkpad¥connectutilities に作成し、命令を終了します。

付録 A. コマンド行インターフェース

Access Connections は、ロケーション プロファイルの切り替えや、ロケーション プロファイルのインポートまたはエクスポートを行うためにコマンド行入力を使用できます。コマンド・プロンプト・ウィンドウで以下のコマンドを入力することも、他のユーザーが使用できるようにバッチ・ファイルを作成することもできます。これらのコマンドを実行する前に、Access Connections が実行されている必要はありません。

- ロケーション プロファイルを適用します。
<path>%qctray.exe/set <location profile name>
- ロケーション プロファイルを切断します。
<path>%qctray.exe/reset <location profile name>
- ロケーション プロファイルを削除します。
<path>%qctray.exe/del<location profile name>
- ロケーション プロファイルをインポートします (.LOC 拡張子のファイルのみ有効)。
<path>%qctray.exe/imp <location profile path>
- 全プロファイルのサイレント・インポートを実行します。
<path>%qctray.exe/importsilently
- ロケーション プロファイルをエクスポートします (.LOC 拡張子のファイルのみ有効)。
<path>%qctray.exe/exp <location profile path>
- (どのプロファイルが直前にアクティブになっていたかは無関係に) ワイヤレス・カード用のテスト SSID プロファイルを適用して、すぐに戻ります。ワイヤレス LAN アダプターの無線は ON のままになります。
<path>%qctray.exe/disconnectwl
- AcMainGUI、AC トレイ、ACWIICON モジュールを閉じます。
<path>%qctray.exe/exit
- Access Connections をモニター・モードに設定します。モニター・モードでは、Access Connections は接続の制御権を他のアプリケーションに渡します。
<path>%qctray.exe/setmonitormode
- モニター・モードをリセットします。
<path>%qctray.exe/resetmonitormode
- すべての Access Connections プロセスを停止します。この処理には、管理者権限が必要であるため、コマンドは AcPrfMgrSvc を介して実行され、プロファイル・マネージャー・サービスを除く他の Access Connections プロセスをすべて閉じます。
<path>%qctray.exe/killac
- すべての Access Connections プロセスを再開します。この処理には、管理者権限が必要であるため、コマンドは AcPrfMgrSvc を介して実行されます。

<path>%qctray.exe/startac

- ワイヤレス・ネットワークを検索します。

<path>%qctray.exe /findwlnw

- QCTRAY ヘルプ情報を表示します。

<path>%qctray.exe /help

付録 B. 統合パッケージ

Access Communications を導入する場合、ワイヤレス LAN ドライバーなど Access Connections に関連したパッケージを必要に応じて導入する必要があります。Access Connections 統合パッケージはインストール・ファイルを一括にすることによってインストール処理を単純化するのに使用されます。

Access Connections 統合パッケージ

このシナリオは、ユーザーインタラクションを必要とせずに Access Connections 統合パッケージをインストールする方法に関する情報を提供します。この統合パッケージをインストールするには、Access Connections バージョン 3.82 を入手してください。Access Connections バージョン 3.82 は、次の Lenovo Web サイトの「Previous version downloads」セクションから入手できます。

<http://www.lenovo.com/pc/support/site.wss/document.do?sitestyle=lenovo&lndocid=MIGR-4ZLNJB>

1. 次のパッケージをダウンロードします。

Access Connections version 3.82 with wireless drivers

このパッケージには Access Connections の以前のバージョンと関連ドライバー、および統合パッケージ・インストールの作成に必要なセットアップ・ユーティリティー・ファイルが含まれています。ダウンロード実行可能プログラムを実行してパッケージを解凍します。モジュールが解凍されるデフォルト・ディレクトリは C:\Drivers\W2K\ACCONWLD です。

2. 以下をそれぞれダウンロードして、解凍します。

- **Access Connections (最新バージョン)**

Access Connections の最新バージョンは、次の Lenovo Web サイトからダウンロードできます。

<http://www.lenovo.com/pc/support/site.wss/document.do?sitestyle=lenovo&lndocid=MIGR-4ZLNJB>

- **ホット・キー・ユーティリティー**

ホット・キー・ユーティリティーは、次のサイトからダウンロードできます。

<http://www.lenovo.com/pc/support/site.wss/document.do?&lndocid=MIGR-38953>

- **省電力ドライバー**

省電力ドライバーは、次のサイトからダウンロードできます。

<http://www.lenovo.com/pc/support/site.wss/document.do?&lndocid=MIGR-4GXPEG>

- **ワイヤレス LAN ドライバー**

ご使用のシステムに必要なワイヤレス LAN ドライバーについては、次の Lenovo Web サイトでワイヤレス・ドライバーの表を参照してください。

<http://www.lenovo.com/pc/support/site.wss/document.do?sitestyle=lenovo&lndocid=MIGR-4ZLNJB>

- **LSID**

このドライバーは、Access Connections と Lenovo ThinkPad /L3000 システム BIOS とのインターフェースのために必要です。下位層のシステム BIOS インターフェースを使用して、Access Connections はワイヤレス装置とシステム依存ハードウェア機構を制御します。

3. C:\Drivers\W2k\ACCONWLD ディレクトリーから以下のフォルダーを削除します。
 - CONWIZ
 - IBMPM
 - ホット・キー・ユーティリティー・パッケージの OSD サブフォルダー
 - ワイヤレス LAN ドライバー (WLANCX2、WLLANATH、または WLLANINT など)
4. 解凍した場所から以下のフォルダーをコピーして、C:\Drivers\W2k\ACCONWLD ディレクトリーに配置します。
 - Access Connections の **CONWIZ**。
 - 省電力の **IBMPM**。
 - ホット・キー・ユーティリティー・パッケージおよびオンスクリーン・ディスプレイの **OSD**。
 - ステップ 2 で解凍したすべての**ワイヤレス LAN ドライバー** (WLANCX2、WLLANATH、または WLLANINT など)。ディレクトリー内のすべてのドライバーではなく、ご使用のワイヤレス・システムに必要なドライバーのみを置換します。

注: このパッケージは、インストールを準備するためにカスタマイズすることができ、ソフトウェア導入支援が含まれています。ソフトウェア導入支援は、ご使用のサブディレクトリーでワイヤレス・ドライバー、Access Connections、および省電力の最新バージョンを検索します。

5. 次のコマンドで、Access Connections 統合パッケージをインストールします。
 - a. 手動でインストールするには、次のように入力します。

```
<path>%setup.exe
```
 - b. インストールの最後にシステム再起動用のプロンプトを表示してすべての関連パッケージのサイレント・インストールを行なうには、次のように入力します。

```
<path>%setup.exe /S /H /R
```
 - c. 再起動しないで関連パッケージのサイレント・インストールを行なうには、次のように入力します。インストールを完了するためには、再起動が必要です。

```
<path>%setup.exe /S /H /R:0
```
 - d. 最後に強制システム再起動ですべての関連パッケージのサイレント・インストールを行なうには、次のように入力します。

```
<path>%setup.exe /S /H /R:2
```

ディレクトリー構造

以下のファイルは、ダウンロードしたパッケージを解凍したフォルダーの中に置いてあります。統合パッケージが解凍されると、ACCONWLD の下に以下の各パッケージを含むサブディレクトリーが作成されます。

- CONWIZ は、メインの Access Connections アプリケーション・ファイルを含むフォルダーです。
- IBMPM は、省電力ドライバー・ファイルを含むフォルダーです。
- OSD は、Fn+F5 ホット・キー・ユーティリティー・セットアップなどのオンスクリーン・ディスプレイ・ユーティリティーを含むフォルダーです。
- WLANCX2 は、インテル® プロ/ワイヤレス・ドライバー (11a/b/g および 11b/g) を含むフォルダーです。
- WLLANATH は、ThinkPad ワイヤレス LAN アダプター・ソフトウェア (11a/b, 11b/g, および 11a/b/g) セットアップを含むフォルダーです。
- WLLANINT は、インテル プロ/ワイヤレス LAN 2100 3B ミニ PCI アダプター・ドライバー・セットアップ (Intel 11b) を含むフォルダーです。
- LSID は、Access Connections と Lenovo ThinkPad /L3000 システム BIOS とのインターフェースのために必要なドライバーです。下位層のシステム BIOS インターフェースを使用して、Access Connections はワイヤレス装置とシステム依存ハードウェア機構を制御します。

付録 C. 特記事項

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、レノボ・ジャパンの営業担当員にお尋ねください。本書で Lenovo 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その Lenovo 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、Lenovo の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、Lenovo 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

Lenovo は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

Lenovo (United States), Inc.
500 Park Offices Drive
Research Triangle Park, NC 27709
USA
Attention: Lenovo Director of Licensing

Lenovo およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。Lenovo は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書で説明される製品は、誤動作により人的な傷害または死亡を招く可能性のある移植またはその他の生命維持アプリケーションで使用されることを意図していません。本書に記載される情報が、Lenovo 製品仕様または保証に影響を与える、またはこれらを変更することはありません。本書におけるいかなる記述も、Lenovo あるいは第三者の知的所有権に基づく明示または黙示の使用許諾と補償を意味するものではありません。本書に記載されている情報はすべて特定の環境で得られたものであり、例として提示されるものです。他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。

Lenovo は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本書において Lenovo 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この Lenovo 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

商標

以下は、Lenovo Corporation の商標です。

Access Connections

Lenovo

ThinkVantage™

ThinkPad

IBM は、IBM Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft および Windows 2000、Windows XP および Windows Vista は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Intel は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

ThinkVantage

Printed in Japan